付紙様式第２

事　業　評　価　書

<table>
<tr><td>補　助　事　業　名</td><td colspan="7">北富士演習場関連公共用施設（交通施設：東裏2号線）整備事業</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　者　名</td><td colspan="7">富士吉田市長</td></tr>
<tr><td>実　施　場　所</td><td colspan="7">富士吉田市中曽根地内</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果の目標</td><td colspan="7">当該路線は舗装補修計画において優先度が高い路線であり、現在の路面状況は計画耐用年数を過ぎた事により、経年劣化による舗装面のひび割れや損傷が多く騒音が発生している状況である。また、路面標示が消えている区間が広く道路交通の安全面へ影響を与えており、沿線の住民からも工事の要望があることから早急に工事を実施し、道路交通の充実を図り快適な市民生活を確保する。</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　の　内　容</td><td colspan="7">舗装補修　L=542.9m</td></tr>
<tr><td>補助事業の始期及び終期</td><td colspan="7">令和６年12月から令和７年10月</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業費及び交付金額</td><td></td><td>R6年度</td><td>R７年度</td><td>R○年度</td><td>R○年度</td><td>R○年度</td><td>計</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td>円
17,172,100</td><td>円
19,728,500</td><td>円</td><td>円</td><td>円</td><td>円
36,900,600</td></tr>
<tr><td>交付金額</td><td>11,000,000</td><td>13,000,000</td><td></td><td></td><td></td><td>24,000,000</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況</td><td colspan="7">舗装補修の実施後、路面の平坦性の向上が確認され車両の走行性、安全性が確保できた。また路面排水の状態も改善した。
本事業を実施したことで道路交通の充実が図れ快適な市民生活を確保することができた。
・ 工事中の立て看板に交付金事業である旨を記載
・ 市の広報誌に掲載</td></tr>
<tr><td>事業の改善措置及び今後の対応</td><td colspan="7">今後、路面性状調査の対象路線として舗装の劣化状況を注視していく。</td></tr>
<tr><td>事業評価に際しての第三者機関の活用の有無</td><td colspan="7">無</td></tr>
</table>

付紙様式第２

事　業　評　価　書

<table>
<tr><td>補　助　事　業　名</td><td colspan="7">北富士演習場関連公共用施設（交通施設：定置式凍結防止剤散布装置）整備事業</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　者　名</td><td colspan="7">富士吉田市長</td></tr>
<tr><td>実　施　場　所</td><td colspan="7">上吉田東９丁目2333番３地内（城山東２号線）
小明見字西ノ尾2509番３地内（大明見下の水線）</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果の目標</td><td colspan="7">本事業は、H17年度（大明見下の水線）、H18年度（城山東２号線）に防衛補助事業を活用し設置した施設の入れ替えを目的として、新たに購入、設置を行うものである。
今回、対象となる施設は、長期に渡る使用に伴い著しく老朽化し、毎年高額な修理費を要し、また、処分制限期間（10年）を超過している。
設置箇所についても、道路勾配や曲線が大きく冬季に路面凍結した際には非常に危険である。
以上より、新規に定置式凍結防止剤散布装置を設置（入替）し、道路交通の安全を図るとともに快適な市民生活を確保する。</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　の　内　容</td><td colspan="7">定置式凍結防止剤散布装置の購入</td></tr>
<tr><td>補助事業の始期及び終期</td><td colspan="7">令和７年７月から令和７年11月まで</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業費及び交付金額</td><td></td><td>R７年度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>計</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td>円
9,240,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>円
9,240,000</td></tr>
<tr><td>交付金額</td><td>8,000,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8,000,000</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況</td><td colspan="7">本事業で定置式凍結防止剤散布装置を設置したことにより、職員又は業者による当該道路の凍結防止剤散布作業業務が削減できたとともに、安心安全な道路交通を確保することができた。
・ネーム「特定防衛施設周辺整備調整交付金対象物件」の明記
・防衛省エンブレムの明記
・市のHPに掲載
・市の広報誌に掲載</td></tr>
<tr><td>事業の改善措置及び今後の対応</td><td colspan="7">本施設を長期的及び安全に指導できるよう定期的なメンテナンスを怠ることなく実施するとともに、冬季シーズンにおける継続的な設置を行っていく。</td></tr>
<tr><td>事業評価に際しての第三者機関の活用の有無</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：配水管工事その１）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市新西原地内						
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和４０年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。						
補助事業の内容	配水管工事　DIP　φ100～φ250㎜　L=407.3m						
補助事業の始期及び終期	令和7年7月から令和8年1月まで						
事業費及び交付金額		R7年度					計
	事業費	円 54,224,500					円 54,224,500
	交付金額	47,000,000					47,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	・耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。 ・今回整備したエリアで6件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。 ・立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補助事業名	北富士演習場関連公共用施設（環境衛生施設：配水管工事その２）整備事業						
補助事業者名	富士吉田市長						
実施場所	富士吉田市新西原地内						
補助事業の成果の目標	今回、配水管工事を行う区間の水道管は昭和４０年代に布設され、老朽化が著しい状況である。そのため既設の水道管は、地震等の災害時における被害を受けやすく、維持管理にも支障をきたす状況となっている。このため新たに耐震管であるGX形ダクタイル鋳鉄管を埋設し地域住民への水道水供給の安定化を行い、災害に強い安全で安心な水道水の安定供給を図る。						
補助事業の内容	配水管工事　DIP　φ100～φ200㎜　L=517.4m						
補助事業の始期及び終期	令和7年9月から令和8年3月まで						
事業費及び交付金額		R7年度					計
	事業費	円 48,416,500					円 48,416,500
	交付金額	40,203,000					40,203,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	・耐震性能に乏しい既設配管を新規の耐震管に布設替したことにより耐震性能が向上し災害時における被害の減少が見込め、沿線住民に対しより安定した水の供給ができ、給水サービス及び住環境の向上を図ることができた。 ・今回整備したエリアで15件の給水管付替工事を行ったことで、有事の際の給水停止などの被害エリア縮小を見込めることができた。 ・立て看板の設置によって交付金事業であることを周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

付紙様式第２

事　業　評　価　書

<table>
<tr><td>補　助　事　業　名</td><td colspan="7">北富士演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器その１）整備事業</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　者　名</td><td colspan="7">富士吉田市長</td></tr>
<tr><td>実　施　場　所</td><td colspan="7">富士吉田市立病院</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果の目標</td><td colspan="7">最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　の　内　容</td><td colspan="7">・デジタルマンモグラフィシステム</td></tr>
<tr><td>補助事業の始期及び終期</td><td colspan="7">令和7年6月から令和7年9月まで</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業費及び交付金額</td><td></td><td>R7年度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>計</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td>円
20,999,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>円
20,999,000</td></tr>
<tr><td>交付金額</td><td>20,000,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20,000,000</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況</td><td colspan="7">医療機器の更新により故障等の発生リスクが排除された。また、最新鋭の機器が整備されたことで、地域住民に対して迅速で安全性の高い医療を提供することができた。
市の広報誌(令和8年4号)や当院ホームページにおいて、新たに導入した医療機器について紹介するとともに、防衛省の交付金を活用し整備したことを周知した。</td></tr>
<tr><td>事業の改善措置及び今後の対応</td><td colspan="7">質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。</td></tr>
<tr><td>事業評価に際しての第三者機関の活用の有無</td><td colspan="7">無し。</td></tr>
</table>

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補　助　事　業　名	北富士演習場関連公共用施設（医療施設：医療機器その２）整備事業
補　助　事　業　者　名	富士吉田市長
実　施　場　所	富士吉田市立病院
補助事業の成果の目標	最新の医療機器の整備及び老朽化・劣化した医療機器を更新することで市民に対しより安全で質の高い医療を提供し、先進かつ安定した地域医療の充実を図る。
補助事業の内容	・内視鏡ビデオシステムEVIS X1 ・HALL Titan ドリルシステム ・システム顕微鏡 ・HD 3CMOSカメラヘッド ・減圧沸騰式洗浄器 ・脳波計 ・超音波診断装置　SONIMAGE　HS2 ・分娩台 DG-JN900 ・視機能評価機 ・X線骨密度測定装置 Horizon Wi型 ・患者ベッド
補助事業の始期及び終期	令和7年6月から令和8年1月まで

事業費及び交付金額		R7年度					計
	事業費	円 68,800,600					円 68,800,600
	交付金額	65,500,000					65,500,000

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	医療機器の更新により故障等の発生リスクが排除された。また、最新鋭の機器が整備されたことで、地域住民に対して迅速で安全性の高い医療を提供することができた。 市の広報誌(令和8年4月号)や当院ホームページにおいて、新たに導入した医療機器について紹介するとともに、防衛省の交付金を活用し整備したことを周知した。
事業の改善措置及び今後の対応	質の高い医療を提供するため、今後も耐用年数を超えている医療機器の更新を行う。
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し。

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補　助　事　業　名	北富士演習場関連特定事業 （教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食費助成事業）
補　助　事　業　者　名	富士吉田市長
実　施　場　所	富士吉田市立の各小中学校
補助事業の成果の目標	市立学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減するとともに、子育て支援及び児童生徒の健全な育成を支援することを目的とする。
補　助　事　業　の　内　容	学校給食費の助成
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和10年度まで

事業費及び交付金額

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費		円 0	円 146,858,150	円 154,357,090	円 151,389,370	円 145,909,180	円 143,226,650	円 143,226,650
基金造成額	交付金	113,958,000	0	125,164,000	0	0	0	50,000,000
	市町村費等	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	運用益	0	91,166	25,917	31,760	21,973	51,827	208,785
	計	113,958,000	91,166	125,189,917	31,760	21,973	51,827	50,208,785
基金処分額		0	40,000,000	40,000,000	50,000,000	40,000,000	20,000,000	40,000,000
基金残額		113,958,000	74,049,166	159,239,083	109,270,843	69,292,816	49,344,643	59,553,428

								計
事業費		円	円	円	円	円	円	円 884,967,090
基金造成額	交付金							289,122,000
	市町村費等							0
	その他							0
	運用益							431,428
	計							289,553,428
基金処分額								230,000,000
基金残額								59,553,428

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	・市立小中学校に在籍する富士吉田市の児童生徒の保護者に対し、学校給食費補助金を支給し、学校給食費の無償化を実施した。また、小６・中３の保護者に対し、アンケートを実施し、ほとんどの家庭において経済的負担が軽減していると感じてることが分かった。 ・給食費無償化となり、これまで教職員が担っていた徴収事務がなくなり、教職員の事務の軽減に繋がった。 ・富士吉田市ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを掲載し周知した。
事業の改善措置及び今後の対応	今後においても、保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒の子育て及び健全な育成を支援することができるよう、計画的な基金運用を計画し実施していく。
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補　助　事　業　名	北富士演習場関連特定事業 （医療に関する事業：子育て応援医療費助成事業）
補　助　事　業　者　名	富士吉田市長
実　　施　　場　　所	富士吉田市下吉田６－１－１
補助事業の成果の目標	我が国の年間の出生数は、第２次ベビーブーム以降、毎年減少を続け、近年まで緩やかな減少傾向となっている。 少子化の原因の一つとして子育てに対する経済負担の増加があることから、少子化対策の一環として、家庭の子育てにおける経済負担を軽減する目的で、子ども（0歳～18歳）が病院などを利用した際の医療費の一部を助成する『子育て応援医療費助成事業』を行うことで、市民にとって子育てし易く、住み良い環境を整える。 参考指標　令和６年度　医療費助成利用者（R7.3.31現在） ・利用人数　6,207　人 ・利用件数　90,128　件 ・総助成金額　191,608,177　円
補　助　事　業　の　内　容	子育て応援医療費の助成費
補助事業の始期及び終期	令和２年度から令和10年度まで

事業費及び交付金額

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
		円	円	円	円	円	円	円
事業費		88,678,211	100,056,440	106,179,199	123,935,715	129,683,055	127,389,942	
基金造成額	交付金	158,056,000	0	0	110,000,000	0	100,000,000	
	市町村費等	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	運用益	30,838	41,330	15,582	7,670	82,273	296,529	
	計	158,086,838	41,330	15,582	110,007,670	82,273	100,296,529	
基金処分額		40,000,000	40,000,000	40,000,000	38,151,420	40,000,000	40,000,000	
基金残額		118,086,838	78,128,168	38,143,750	110,000,000	70,082,273	130,378,802	

								計
		円	円	円	円	円	円	円
事業費		令和９年度	令和10年度					675,922,562
基金造成額	交付金							368,056,000
	市町村費等							0
	その他							0
	運用益							474,222
	計							368,530,222
基金処分額								238,151,420
基金残額								130,378,802

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	・令和７年度は、昨年度よりも利用件数は約3,900件、利用人数も約140件近く減少しており、医療費の総額は減少しているものの、ひとりあたりの医療費は増加していることが伺える。成果として、子育てに対する経済的負担の軽減に寄与し、市民にとって子育てし易い環境の整備づくりに貢献することができた。 令和７年度　利用人数　6,065 人 利用件数　86,240 件 総助成金額　184,479,765 円 ・富士吉田市ホームページの本事業の紹介ページに防衛省関連補事業であることを記載した。 ・新規受給者に対して渡す利用案内のパンフレットに、防衛省関連補助事業であることを記載した。 ・富士吉田市ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した基金管理事業に関する基金全体計画書を掲載し、継続的に事業を実施し効率的に運営がなされていることを周知した。
事業の改善措置及び今後の対応	住民への周知を徹底し、他の子育て関連事業との連携を検討するなど、市民にとって子育てし易く、住み良い環境を整えていく。
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無

付紙様式第２

事　業　評　価　書

<table>
<tr><td>補　助　事　業　名</td><td colspan="7">北富士演習場関連特定事業
（医療に関する事業：生活習慣病対策【がん検診事業】）</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　者　名</td><td colspan="7">富士吉田市長</td></tr>
<tr><td>実　施　場　所</td><td colspan="7">富士北麓総合医療センター(富士吉田市緑ケ丘2丁目7番21号)
富士吉田市環境美化センター（富士吉田市小明見3丁目11番32号）
指定医療機関</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果の目標</td><td colspan="7">富士吉田市における死亡原因の第1位であるがんの早期発見のため、20歳以上を対象としたがん検診を集団、個別の方法で検査機関に委託して実施する。
土日の日程確保や基本的な健康診断と同時に実施する等、市民がよりがん検診を受けやすい環境を整えて、検診を受けてもらい予防行動が取れるよう支援する。</td></tr>
<tr><td>補　助　事　業　の　内　容</td><td colspan="7">がん検診等委託
（胃がん、肺がん、大腸がん、肝がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん）</td></tr>
<tr><td>補助事業の始期及び終期</td><td colspan="7">令和7年7月から令和8年2月</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業費及び交付金額</td><td></td><td>R7年度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>計</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td>円
36,368,998</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>円
36,368,998</td></tr>
<tr><td>交付金額</td><td>23,000,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>23,000,000</td></tr>
<tr><td>補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況</td><td colspan="7">令和7年度は、委託機関と熱中症対策など受診環境を整え、市民が安心・安全に受診できるように努めた。また、健診35日間のうち土日開催を8日間設定し、乳がん検診の同時実施日を19日間設けるなど、市民がより受診しやすいよう調整を行ない実施できた。
全市民に向けた健康ガイドブックの発行やWeb予約の浸透に加え、市の公式ラインやアプリ、ハガキでの個別受診勧奨に取り組んだ。
広報及びHP、健康ガイドブックにて特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当している旨を引き続き記載し周知した。</td></tr>
<tr><td>事業の改善措置及び今後の対応</td><td colspan="7">健診体制や受診環境の調整など委託医療機関との連携に努め、より多くの市民が受けやすい体制づくりに努める。
より分かりやすい健康ガイドブックやリーフレットの作成、ICTを活用した検診の周知など、年代ごと伝わりやすい勧奨方法を工夫していく。</td></tr>
<tr><td>事業評価に際しての第三者機関の活用の有無</td><td colspan="7">無</td></tr>
</table>

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補　助　事　業　名	北富士演習場関連特定事業 （教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食センター運営事業）
補　助　事　業　者　名	富士吉田市長
実　施　場　所	富士吉田市小明見三丁目６番１号
補助事業の成果の目標	学校給食センターを安定的に運営することで、保育園児、児童及び生徒に対し、安心安全な給食を提供することを目標とする。
補　助　事　業　の　内　容	学校給食センター運営費
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和11年度まで

事業費及び交付金額

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		円	円	円	円	円	円	円
事業費		0	32,281,079	27,904,683	30,881,409	43,834,968	42,688,317	43,892,732
基金造成額	交付金	60,000,000	0	0	60,000,000	0	0	60,000,000
	市町村費等	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	運用益	0	78,213	32,062	7,038	11,967	8,046	14,973
	計	60,000,000	78,213	32,062	60,007,038	11,967	8,046	60,014,973
基金処分額		0	20,000,000	20,000,000	20,117,313	20,000,000	20,000,000	20,034,986
基金残額		60,000,000	40,078,213	20,110,275	60,000,000	40,011,967	20,020,013	60,000,000

		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度		計
		円	円	円	円	円	円	円
事業費		43,021,590						264,504,778
基金造成額	交付金	0						180,000,000
	市町村費等	0						0
	その他	0						0
	運用益	253,870						406,169
	計	253,870						180,406,169
基金処分額		20,000,000						140,152,299
基金残額		40,253,870						40,253,870

補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	・安心安全な給食を提供するために、業者からの報告書により調理食数及び衛生管理に則した業務運営を実施した。また、食物アレルギーの対応については「保護者面談記録表」などにより対応状況を確認した。 ・富士吉田市ホームページに防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを掲載し周知した。 ・毎月給食だよりと一緒に配布している献立表に防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当して本事業を運営していることを記載し、保護者等に周知した。
事業の改善措置及び今後の対応	今後においても、保育園児、児童及び生徒に対して、安心安全な給食を提供し、安定的に学校給食センターを運営することができるよう、計画的な基金運用を計画し実施していく。
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し

付紙様式第２

事　業　評　価　書

補助事業名	北富士演習場関連特定事業 （防災に関する事業：防災備蓄倉庫維持運営事業）								
補助事業者名	富士吉田市長								
実施場所	富士吉田市下吉田六丁目１番１号								
補助事業の成果の目標	災害発生時に物資供給機能等を果たす防災備蓄倉庫については、地域住民の安心安全を確保する上で重要な施設であることから、定期的な点検・修繕等の維持管理や安定した管理運用を行い長寿命化を図る。								
補助事業の内容	防災備蓄倉庫の維持運営及び施設の長寿命化								
補助事業の始期及び終期	令和６年度から令和10年度まで								
事業費及び交付金額			令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和11年度	年度	年度
	事業費		円 0	円 12,465,200	円	円	円	円	円
	基金造成額	交付金	36,432,000	0	0		0	0	
		市町村費等	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
		運用益	0	154,149					
		計	36,432,000	154,149	0	0	0	0	0
	基金処分額		0	12,000,000					
	基金残額		36,432,000	24,586,149					
									計
	事業費		円	円	円	円	円	円	円 12,465,200
	基金造成額	交付金							36,432,000
		市町村費等							0
		その他							0
		運用益							154,149
		計							36,586,149
	基金処分額								12,000,000
	基金残額								24,586,149
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	定期的な点検・修繕等の維持管理や安定した管理運用を行い地域住民の安心安全に寄与することができた。 本事業について、市のホームページを通じ広く市民に周知した。 近隣の小学校の事業において、防災倉庫の様子を公開し、市で備蓄している非常食や資機材など災害に備えていることと、施設についても適正な維持管理をしていることを説明。								
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き防災備蓄倉庫の点検・修繕等の維持管理を行い、安定した運用を行う。								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し								